

2019年6月3日

ADO/ソラシドエアの 2018 年度の業績について

この度発表されたAir Do(ADO)とソラシドエアの 2018 年度実績を概観しました。
分析にあたり、一部当方で概算推定した部分もあります(該当箇所にその旨記載)。

1. 両社の事業概要

① 機材・路線:

ADO; 中型の B767-300 型(290 席弱)と小型の B737-700 型(144 席)計 14 機で
羽田=北海道各空港、札幌=地方空港等を運航している。

ソラシド; 小型の B737-800 型(174 席)13 機で、羽田=九州各空港、那覇=地方
空港等を運航している。

② 2018 年度の収益規模: ADO は減収、営業増益、ソラシドは増収減益

両社ともに 400 億円強の収入(含 ANA への座席販売収入)で 30 億円規模の営業利益
を上げている。

ADO は、札幌=岡山、広島線を廃止したことで前年比で減収となったが、営業利益は
若干増の 30 億円となった。

ソラシドは、中部=那覇線増便と中部=鹿児島線就航で増収ながら、営業利益は
若干減の 32 億円であった。

また 2019 年度は両社ともに増収ながら、営業利益はほぼ半減の見込み。

2. 両社の 2018 年度業績(推定を含む)

① ADO: 座席減ながら(ANA への販売席数減で)自社席は▲6%

便数は▲15%と大幅減、但し小型機の路線、かつ ANA への販売座席の多い路線でも
あったため総供給座席数は推定▲10%、自社座席数で▲6%であった。

一方旅客^キは▲2%に留まって搭乗率は 72→75%と大きく改善、これが増益に繋
がった。

② ソラシド: 4%の便数増ながら(ANA への販売席数増で)自社座席^キは▲1%

便数は+4%増加、これに連動して総座席数も増えたが、増加席数は主に ANA への
座席販売分に廻った(推定)ため、ソラシド自体の座席^キはむしろ微減(▲1%)であった。

一方旅客^キは+1%増で、搭乗率は 69→70%と改善した。

③ ANA のコードシェア座席(推定):

ADO とのコードシェア席数は大幅減(推定▲20%)で、ADO から購入した座席数は、推定で全席数の34%(平均68席程度)であった。

ソラシドとのコードシェア席数は推定10%超の増加で、全座席数の39%(平均68席程度)と推定される。

実績数値および概算推定値は以下のとおりです。

概算推定値については、数値そのものでなく、傾向値としてお受け留め下さい。

		ADO				ソラシド					
		2017	2018	差	率	19予	2017	2018	差	率	19予
(収益性)											
営業収入	億円	475	449	-26	95	457	394	420	26	107	440
(うちANA)	億円	165					123				
営業費用	億円	449	418	-31	93		356	388	32	109	
営業利益	億円	26	30	5		12	38	32	-6		17
(-支払利息等)	億円	-7	-7	-0			-2	-0	2		
経常利益	億円	19	24	5		7	36	32	-5		16
(-法人税等)	億円	-8	-13	-5			-11	-10	1		
当期利益	億円	11	11	-0		5	25	21	-4		11
(生産量)											
便数	便	24,674	21,093	-3,581	85		24,580	25,567	987	104	
座席数	千席	3,006	2,835	-171	94						
旅客数	千人						1,890	1,892	2	100	
座席^千	百万 ^千	2,835	2,668	-167	94		2,873	2,845	-28	99	
旅客^千	百万 ^千	2,042	2,004	-38	98		1,979	1,990	11	101	
搭乗率	%	72	75	3			69	70	1		
		札幌=岡山、広島廃止					中部=鹿児島新設、那覇増便				
(概算推定)											
総席数	千席	4,800	4,280	-520	89		4,270	4,450	180	104	
(/年間)	千席	3,000	2,840	-160	95		2,740	2,710	-30	99	
	千席	1,800	1,440	-360	80		1,530	1,740	210	114	
同	席	120	134	14	112		112	106	-6	95	
(便当り)	席	74	68	-6	92		62	68	6	110	
(ANA%)	%	38	34	-4			36	39	3		

以上